



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日 東

上場会社名 株式会社アビスト 上場取引所  
 コード番号 6087 URL <http://www.abist.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進 勝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 島村 恒基 (TEL) 03-5942-4649  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期累計増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	5,386	20.1	904	46.1	910	33.0	580	53.7
27年9月期第3四半期	4,483	15.8	619	18.2	684	38.1	377	53.1

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 531百万円 ( 44.2%) 27年9月期第3四半期 368百万円 ( 45.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	145.97	—
27年9月期第3四半期	94.94	—

(注) 当社は、平成27年1月1日付で普通株式1株当たり2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	5,204	3,759	72.2
27年9月期	4,840	3,411	70.5

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 3,759百万円 27年9月期 3,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	46.00	46.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	53.00	53.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 27年9月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 6円00銭

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,141	14.9	1,136	27.7	1,144	19.4	697	30.1	175.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期3Q	3,980,000株	27年9月期	3,980,000株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	81株	27年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期3Q	3,979,927株	27年9月期3Q	3,980,000株

(注) 当社は、平成27年1月1日付で普通株式1株当たり2株の割合で株式分割を行っており、期末発行済株式数、期中平均株式数(四半期累計)は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、全体として緩やかな回復基調を継続しておりましたが、6月24日の英国のEU脱退国民投票結果による世界経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。わが国の経済においては企業収益改善の足踏み、消費者物価の上昇テンポ鈍化の一方、設備投資持ち直しや雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が続いており、熊本地震の経済に与える影響に十分に留意する必要がありますものの、各種政策の効果もあって、先行きも緩やかな回復に向かうことが期待されます。

このような状況下、特に当社グループが主力事業を展開する自動車及び自動車部品業界における技術者需要は引き続き活況であり、弊社の強みでもある高い技術力が求められる設計開発アウトソーシングサービスに対するニーズは堅調に推移、また上記熊本地震の弊社グループへの影響は軽微であったことにより、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は順調に推移いたしました。

本事業年度において当社は平成28年4月に123名の新入社員を迎えることができ、約2ヶ月間の研修の上、順調に配属することができました。同年4月に、請負業務の拡大と新規顧客開拓のため、浜松受託室を開設いたしました。お客様の近くに事務所を設置することにより、顧客ニーズにより早く対応することができ、また、派遣業務に就業する社員へのフォローも充実させることを目的としております。加えて、3Dプリント事業の拡大やコミュニケーションロボットの開発にも取り組んでおります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は53億86百万円（前年同期比20.1%増）となりました。営業利益は9億4百万円（同46.1%増）となりました。経常利益は9億10百万円（同33.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億80百万円（同53.7%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①設計開発アウトソーシング事業

当セグメントにおきましては、売上高は51億19百万円（前年同期比16.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は9億32百万円（同22.3%増）、セグメント利益（営業利益）率18.2%となりました。

#### ②水素水製造販売事業

当セグメントにおきましては、売上高は2億87百万円（前年同期比148.8%増）を計上いたしました。商品認知向上のために、新聞・ラジオ等メディアへの広告宣伝費の投入により、セグメント損失（営業損失）は45百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億61百万円）となりました。

#### ③その他

不動産賃貸事業に関しましては、売上高は22百万円（前年同期比4.4%減）となり、セグメント利益（営業利益）は14百万円（同9.6%減）、セグメント利益（営業利益）率62.6%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は固定資産の増加等により、52億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億64百万円の増加となりました。

流動資産は32億80百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金が20億40百万円、売掛金が10億21百万円となっております。

固定資産は19億18百万円となりました。この主な内訳は、有形固定資産が13億68百万円、投資その他の資産が4億61百万円となっております。

負債合計は流動負債の増加等により、14億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円の増加となりました。

流動負債は11億5百万円となりました。この主な内訳は、未払金が4億22百万円、未払法人税等が51百万円となっております。

固定負債は3億39百万円となりました。この主な内訳は、退職給付に係る負債が1億77百万円、役員退職慰労引当金が1億51百万円となっております。

純資産合計は利益剰余金の増加等により、37億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等  
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

当社は、平成28年3月16日開催の取締役会で本社移転計画に関する決議をいたしました。これにより、移転に伴い利用不能となる固定資産について第2四半期連結会計期間より耐用年数を短縮し、また、移転前の本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務に係る資産除去債務についても、償却に係る使用見込期間を短縮し、将来にわたり変更いたしました。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,045,896	2,040,201
売掛金	927,226	1,021,943
仕掛品	17,158	57,042
その他	203,848	161,437
流動資産合計	3,194,130	3,280,624
固定資産		
有形固定資産	1,135,866	1,368,463
無形固定資産	76,441	88,246
投資その他の資産	425,884	461,459
固定資産合計	1,638,192	1,918,169
繰延資産	7,709	5,940
資産合計	4,840,032	5,204,734
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	30,000	30,000
未払金	410,833	422,487
未払法人税等	279,373	51,715
賞与引当金	211,840	—
その他の引当金	—	12,884
その他	179,557	588,140
流動負債合計	1,111,604	1,105,227
固定負債		
役員退職慰労引当金	141,947	151,172
退職給付に係る負債	161,435	177,438
その他	13,864	11,056
固定負債合計	317,248	339,667
負債合計	1,428,852	1,444,895
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,026,650	1,026,650
資本剰余金	1,016,650	1,016,650
利益剰余金	1,420,389	1,818,259
自己株式	—	△136
株主資本合計	3,463,689	3,861,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,997	△70,405
退職給付に係る調整累計額	△32,512	△31,178
その他の包括利益累計額合計	△52,509	△101,583
純資産合計	3,411,180	3,759,839
負債純資産合計	4,840,032	5,204,734

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,483,946	5,386,415
売上原価	3,113,914	3,597,545
売上総利益	1,370,032	1,788,869
販売費及び一般管理費	750,898	884,272
営業利益	619,134	904,597
営業外収益		
受取配当金	3,185	4,450
受取手数料	438	554
保険解約返戻金	—	2,290
その他	77,863	3,062
営業外収益合計	81,487	10,357
営業外費用		
開業費償却	1,645	1,645
株式公開費用	7,883	—
障害者雇用納付金	2,800	1,925
その他	3,482	711
営業外費用合計	15,812	4,281
経常利益	684,809	910,672
税金等調整前四半期純利益	684,809	910,672
法人税、住民税及び事業税	227,880	250,180
法人税等調整額	79,053	79,541
法人税等合計	306,934	329,722
四半期純利益	377,874	580,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	377,874	580,950

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	377,874	580,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,644	△50,408
退職給付に係る調整額	△5,256	1,333
その他の包括利益合計	△8,900	△49,074
四半期包括利益	368,973	531,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,973	531,875
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソーシ ング事業	水素水 製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,386,673	73,381	4,460,054	23,892	4,483,946	—	4,483,946
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	42,078	42,078	—	42,078	△42,078	—
計	4,386,673	115,460	4,502,133	23,892	4,526,025	△42,078	4,483,946
セグメント利益又は損失 (△)	762,331	△161,391	600,939	15,808	616,748	2,385	619,134

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額2,385千円はセグメント間取引消去等であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソーシ ング事業	水素水 製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,119,405	244,170	5,363,576	22,838	5,386,415	—	5,386,415
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	43,106	43,106	—	43,106	△43,106	—
計	5,119,405	287,277	5,406,682	22,838	5,429,521	△43,106	5,386,415
セグメント利益又は損失 (△)	932,685	△45,216	887,469	14,289	901,758	2,838	904,597

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額2,838千円はセグメント間取引消去等であります。